	,	令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業評	平価表(事後)	(標準評	平価表))				
中亚	女市光力		啦吕亚枚1-	- -	十2公章	弗			会計	款	項	目	多額 経費
事 犯	務事業名		職員研修に	-安	9 る柱1	頁			一般	2	1	2	
	 政策		計画の実	現の	ために	-			担当課室	総	- 务課	-	
	 施策	効	 率的で健全な行	亍財	政運営	の推進	<u> </u>		担当課室長	井_	上 失	印子	
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	<i>t=&</i>	かの方領	(年)							
①前評掲内で た内でで ②①で を ②の で を で で で で で り で り で り で り で り で り る り る り	実現していくの計画の実施の計画の実施の計画の実施の記を表示の影響を表示の影響を表示。	おいては、新型 影響で一部研修 を動画等により	の見直しとそ ピコロナウイル を取り止め、		③令和 度に取 改革・i 内容	組む	育成を の見直	実現し しとそ まよりも	本方針 していく の計画 動画等	<i>ため.</i> iの:)、研 実施	F修言 を行	†画 う。
Ⅱ事務	事業の目的・	音図(対象などう) 求められ						ط ح ماد	1. 二. <i>(</i>)	5/	 + >	. 4r. 4	1
①目的	対象	全職員			図(対象 るのか)	をとう			は貝像につけてし		要な	能力	Jを
②事務事	事業の概要								て、それぞれに求めら				
からの状況 見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	各公共団体の り高い目標を選										敞員	、よ
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況											
①令和2 の成果	年度の事業	①令和2年度码 ②階層別研修 ③派遣研修·自	・実務研修の実	施									
②成果		指标	票名称		平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		算足	定根	拠	
を表す	İ		、教育長を除く	()	722	733				谷市職員配 谷市職員研修			
指標	ii		受講人数		1419			人		研修	概要_		
(a) = 75 =	iii		人数/職員数		197	178		%	業務耳				7 F.F
	業のコスト	令和元年度決算					<u>.争耒貧</u>	<u>りの主</u> 内容	び内訳	节和	山る円		
事業費(-	<u>「口)</u> 出金(千円)	2,651	5,422		金額(千		階層別						3,721
	出金(千円)			┢			実務研						
	の他(千円)			t			派遣研						
	才源(千円)	2,651	5,422				自主码					3	3,721
Ⅳ 評価	i•検討												
①課題(る現状な	目的に対す	改定した人材育 く必要がある。	育成基本方針に	基	づいた	研修計	画の見	直しと	その計	·画る	実	施し ⁻	てい
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査∙	検証
③上記記	平価の理由	人材育成基本 を実施する必要	方針に基づき耶	哉員	が必要	な能力		つける	ため、	研修	》 能	: 力}	昇発
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実		ナる									
①令和2	2年度の計画			計画	令 画事業費	和2年	度事業 予算額		∵況(単				
②計画に	対する事業実績				, , , , , , ,		当初		決 算額 R1から の繰越				
<u>③達成</u> 地	犬況			1		0	R1⇒R2繰越 補正		0		年分		\dashv
		1		1		I	** III + 1/	ı		つし-		1	

④未完了・非着手の理由

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事簿	集評	⁴価表(事後)	〔標準፤	平価表))					
事彩		基	幹系ネットワー	クリ	プレイ	ス事業			会計	款	項	目	多額 経費	
									一般	2	1	10	0	
	政策		計画の実現	見の	ために	-			担当課室	総	 多課	;		
	施策	.,,,	率的で健全な行			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	<u> </u>		担当課室長	IJĮ	島「	隆		
I 改革 ①前回		=事務事業をよ		t=&.	の方領	₹)								
の評価 で掲げた内容	負荷や経年	ワーク機器等に 劣化を考慮し、』 や、ケーブル交打	必要に応じて		③令和度に取	組む								
②①に 基づく 取組み 結果	経年劣化した等を行った。	ニ末端ハブやケ・	ーブルの交換		改革·i 内容	以苦								
Ⅱ事務	事業の目的・	概要												
①目的	対象	基幹系ネットワ	一ク機器		図(対象 るのか)	をどう	ネット「	フークの	ークの安定稼働					
②事務事	事業の概要	基幹系ネットワ	一ク機器及びケ	r—	ブルを	リプレー	イスする	5.						
からの状況 見込み・市	分析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など) な事業の成果な	要因によりネッ	スでは、機器の トワーク障害が きシステム面で	発:	生するす	可能性	がある	ことから	ら、日頃	頁の	職員	教育	ī٤	
①令和2 の成果	2年度の事業	基幹系ネットワ	一ク機器等の3	を換	により	、シス -	テムのラ	安定稼·	働を保	持で	ごき #			
②成果		指标	票名称		平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位	単位 算定根拠					
を表す指標	i ii	稼	働率			99.9	99.9	%	計画停止を除く停	(1開庁日程)	度)に留める			
扫信	iii													
③事務事事業費(=	事業のコスト	令和元年度決算 1,596	令和2年度決算	合	<u> </u>									
	TD/		0.570				事業費		な内訳	令	和3年	F度 ⁻		
	出金(千円)	1,000	9,578		和2年度 金額(千	円)	事業費使用料	内容	な内訳	令和	和3至	F度 ⁻	予算 0	
県支出	出金(千円)	1,000	9,578			円)		内容	な内訳	令 君	和3至	丰度		
県支出 市債ぞ	出金(千円) その他(千円)					円)		内容	な内訳	<mark>令</mark> 7	13年	F 度		
県支出 市債ぞ 一般則	出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	1,596	9,578			円)		内容	な内訳	<u>令</u>	和3年	下度		
県支出 市債ぞ 一般則 IV 評価	出金(千円) その他(千円) け源(千円) 「・検討 目的に対す	1,596		接続	金額(干	円) 9,578 めの末	使用料	内容 料 -ブルに					0	
県支出 市債で 一般則 IV 評価 ①課題(出金(千円) その他(千円) け源(千円) 「・検討 目的に対す	1,596 基幹系ネットワ のがあるため、 i 市関与の妥当性	9,578 一クの端末へ打 状況に応じて個	接続 別 ※	金額(干	-円) 9,578 めの末 よする必	使用料	内容 料 -ブルに		劣化	にして		0 .ŧ	
県支出 市債で 一般則 1V 評価 ①課題(る現状な ②評価	出金(千円) その他(千円) け源(千円) 「・検討 目的に対す	1,596 基幹系ネットワ のがあるため、 i 市関与の妥当性 ii 有効性	9,578 一クの端末へ持 状況に応じて個 3高い	接続 固別 iii ·	金額(千) するたい 対処 公平性 効率性	-円) 9,578 めの末 よする必	使用* 端ケーな ではまする。 2普通	内容 -ブルに ある。	は経年金	劣化評価	にして	こいる	0 .ŧ	
県支出 市債で 一般則 1V 評価 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記	出金(千円) その他(千円) け源(千円) 「・検討 目的に対す 、ど)	1,596 基幹系ネットワ のがあるため、 i 市関与の妥当性 ii 有効性	9,578 一クの端末へ持 状況に応じて個 3高い 3高い 一クリプレイス	接続 iii stiv 3	金額(千 ではなが、 はなが、 なるが、 なるが、 なるでで、 なるでは、 なるでは、 なるでは、 なるでは、 はないでは、 もないでは、 はないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。	-円) 9,578 めの末 する必 経常経 況	使用 端ケーが 2 音 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 6 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	内容 -ブルに ある。 8行した	は経年至 ・V総合 こため。	劣化	にして	こいる 1終 ⁻	0 .ŧ	
県支出 市債で 一般則 1V 評価 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) 「・検討 目的に対す にど) 平価の理由	1,596 基幹系ネットワ のがあるため、 i 市関与の妥当性 ii 有効性 基幹系ネットワ	9,578 一クの端末へ持 状況に応じて個 3高い 3高い 一クリプレイス	接 接 が デ か が テ	金額(千 ではなが、 はなが、 なるが、 なるが、 なるでで、 なるでは、 なるでは、 なるでは、 なるでは、 はないでは、 もないでは、 はないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでは、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もないでも、 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。	-円) 9,578 めの末 する必 経常経 況	使用 端ケーが 2 音 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 音 3 2 6 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	内容 -ブルに ある。 - 数行した	は経年金	劣化 評価	にして	いる 1終 ⁻	0 .ŧ	
県支出 市債で 一般則 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額 ①令和な	出金(千円) その他(千円) け源(千円) 「・検討 目的に対す にど) 平価の理由 の経費を要す 2年度の計画	1,596 基幹系ネットワ のがあるため、 i 市関与の妥当性 ii 有効性 基幹系ネットワ る事業等の「す	9,578 一クの端末へ持 状況に応じて個 3高い 3高い 一クリプレイス	接 接 が デ か が テ	金額(千年) なった がい ない できる がった 平性 はい ない できる	-円) 9,578 めの末 する必 経常紹 加2年	使用** はいますがある。 ないますがある。 ないますがある。 ないますがある。 ないますがある。 ないますがある。 ないますがある。 まずまずがある。 まずまずがある。	内容 -ブルに ある。 - 数行した	は経年到 ・	劣 作 读 R1	チャー	いる 1終 ⁻	0 .ŧ	
県支出 市債で 一般則 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額 ①令和な	出金(千円) その他(千円) け源(千円) 「・検討 目的に対す にど) 平価の理由 の経費を要す 2年度の計画 対する事業実績	1,596 基幹系ネットワのがあるため、 i 市関与の妥当性 ii 有効性 基幹系ネットワ る事業等の「す リプレイス完了 リプレイス完了	9,578 一クの端末へ持 状況に応じて個 3高い 3高い 一クリプレイス	接 接 が デ か が テ	金額(千) ない	-円) 9,578 めの末 する必 経常経 況	使用** 端要 普要 事算 事 第 事 第 書 初	内容 -ブルに ある。 多行した	は経年至 ・V総合 こため。	劣化 評価	千里葉から	1終 ⁻	0 .ŧ	

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事績	集評	価表(事後)	(標準i	平価表))					
事系			総合基本計	画領	策定事:	業			会計	款	項	目	多額 経費	
									一般	2	1	8	0	
	政策		計画の実現	見の	ために	- -			担当課室	企ī	画財正	攺課	!	
	施策		率的で健全な行				生		担当課室長	小:	笠原	直	樹	
	改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t=&.	の方領	〔								
① のでた内でたりでは では内ででは ② では では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	総合基本計画 意見照会、パ のヒアリング等 庁内検討を 会の答申、市 クコメント等を 基本計画を領		l、市議会への 市民グループと きする。 を策定し、審議 見及びパブリッ		③令和 度に取 改革・i 内容	組む								
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要												
①目的	対象	市民、事業者、	団体		図(対象 るのか)	をどう	市と協	働でま	ちづく	りを	進め	る		
②事務事	事業の概要	現行の総合基準 定するもの。	本計画が令和2	2年	度で終	了する	ことから	ò、総台	本基名	計画	Īを新	たに	二策	
からの状況	が析(事業開始 兄変化や今後の 可民意向など)	正9 るもの。 所(事業開始 策定した基本計画を推進し を吹することが表示を行					ピコロナ	ウイル	ス感染	ŧ症·	へ の	影響	等	
①令和2 の成果	2年度の事業	令和3年度を計	十画開始年度と	する				定した。)					
②成果		指	票名称		平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		算定根拠				
を表す	i		想の策定		0	1			業務耳					
指標	ii		画の策定	٠,	0	0	1	m	業務即					
の事数目	iii iii		礎調査報告書の第 今和9年度は第	_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 年 1 年 1		冊 () の 主	業務理			: 庫 3	之 ′	
事業費(-	<u>事業のコスト</u> チ四)	<u> </u>	<u>令和2年度決算</u> 12,608		102年13 全額(千		尹未其	<u>// </u>	は内部	<u> 77 /</u>	LHO +	· 文	<u>, </u>	
	出金(千円)	101	12,000				計画策		務委託					
	出金(千円)						総合基本							
	その他(千円)					3	審議会開	開催に伴う	ラ需用費					
	<u> </u>	181	12,608							<u> </u>				
IV 評価														
①課題(る現状な	目的に対す (ど)	人口減少対策 を図る必要があ	や少子高齢化対 ある。	対策	など今	·後解決	とすべき	き課題を	を踏まえ	₹.[計画の	の推	進	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性		iv 3	公平性 効率性				v 総合			終		
	評価の理由	本計画の策定	閣議会への諮問 が完了したため	0			クコメン	トの実	施等を	踏:	まえ、	総合	基	
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実		ける										
①令和	2年度の計画	総合基本計画第	策定業務委託	計画	令 事業費	和2年	度事業 予算額		₹況(単	決	算額			
②計画に	対する事業実績	総合基本計画	の策定				<u>当初</u>	13,027 20			から 繰越		0	
③達成物	大況 大況	完	了		13,027	13,047	補正		12,608					
© ~~ // I							11111111		•	押户	年分	1.2	2,608	

令和3年度への繰越額(単位;千円)

0

④未完了・非着手の理由

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準፤	平価表)				
車系	务事業名		マイナポィ	ハル車業	,			会計	款	項	目	多額 経費
7 1.	力于木口		4477//	1ノドザネ	:			一般	2	1	8	0
	政策		計画の実現	見のために	Ξ			担当課室	企匪	ī財i	 政課	
	施策	効	率的で健全な行	対政運営	営の推済	<u></u>		担当課室長	小笠	原	直	尌
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方	策)							
①のでたたのでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個		Jon Tr.			和3年 取組む 改善			報提供 −ビス <i>の</i>				
Ⅱ 事務	<u> 事業の目的・</u>	<u>概要</u>		l								
①目的	対象	マイナンバーカ	一ド取得者	意図(対象するのか)				カードュレス	_			足進
②事務事	事業の概要	消費活性化等めの支援を行	を目的に行うマ うもの。	イナポイン	ノト事業	につい	て、マ	イナポ・	イント	取	导の	た
からの状況見込み・市	分析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など) 「事業の成果と		長(令和3年3月 でにマイナンバ る。									
	2年度の事業		事業開始に合わ 引始した。				ジー ス	を設置	置し、	令和	13年	8
②成果		指标	票名称	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		処			
を表す	i		炎件数			6565		業務耳				
指標	iii	登	录件数			2851	件	業務耳	<u> </u>			
③事務事	事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年	度決算	事業費)の主	な内訳	令和	13年	度-	予算
事業費(-	千円)	0	9,852		千円)		内容				7	,983
	出金(千円)		9,852		9,793	業務委	き託				7	,983
	出金(千円)											
	その他(千円)											
IV 評価												
	目的に対す	決済事業者に	より登録方法が	異なるた	め、正征	確な情幸	设提供 [:]	を行う』	必要:	があ	る。	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 2普通		v 総合評価 1終了				
③上記記	平価の理由	マイナポイント	の申請及び活用	月期間が~	令和3年	₹9月で	終了す	るため	٥,			
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画」におい	ける達成物	犬況							
	2年度の計画	支援ブースの選			和2年	度事業 予算額		∵況(単 ■		千円 算額		
②計画に	対する事業実績	支援ブースの調	 軍営			当初 R1⇒R2繰越	4,977		R1が	から		
③達成物	犬況	完	7	4,977	9,852	補正		9,852	現年		9	9,852
④未完了	・非着手の理由			令和3年度への	D繰越額(単	流用·充当 益位;千円)	4,875					0

	令和3年度 鎌ケ谷市事務事業	集部	平価表(事後)	(標準評価表))				
事務事業名	市庁舎改	修:	空 車業		会計	款	項	目	多額 経費
学 切学术 石	川川日以		一般	2	1	7	0		
政策	計画の実現	計画の実現のために							
施策	効率的で健全な行	財	一政運営の推進	<u><u> </u></u>	担当課室長	髙棉	香 秀	§之	
I 改革·改善内容(=	=事務事業をより良く実施する	1-8	かの方策)						
	ナる騒音や振動など来庁市民 ないよう、関係部署との綿密			てまわにかに	トフ ff又コ	ታ	+I= €+	+> 1	े संद

な調整を図りながら、工事を進めていく。 た内容 2115 基づく

市庁舎空調設備改修工事が完了した。 取組み 結果

度に取組む 改革·改善 内容

平成30 令和元 令和2 出 份

|3令和3年 |工事中における騒音や振動など来 庁市民に支障とならないよう、関係 部署との綿密な調整を図りながら、 工事を進めていく。

質定根拠

Ⅱ 事務事業の目的・概要

①目的	対象			空調、非常用発電、トイレの改修に より、庁舎の適正な管理を行う。
②事務事	事業の概要	市庁舎の空調設備、非常用発	電設備の老朽化	に伴い、改修工事を行う。
からの状況			ある。また、新型:	から、適正な管理を行い、安全・安コロナウイルス感染症対策としてトイ要がある。

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

<mark>①令和2年度の事業 </mark>空調設備改修工事を完了させ、非常用発電設備改修工事を発注した。トイレ改修 の成果 については、工事発注のための設計図書を完成させた。

指煙 夕 称

	2)成果			水.口.山.	年度	年度	年度	+ 122		77 KIKIK
3	表す	i	改修割	合(累計)		3	55	%	業務耳	7得
ŧ	旨標	ii								
		iii								
(3)事務事	業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年	度決算	(事業費	()の主	な内訳	令和3年度予算
=	事業費(-	千円)	10,113	224,162	金額(内容		163,501
	国支出	出金(千円)		26,223			調査部			24,455
	県支出	出金(千円)				208,584	工事書	ŧ		
	市債で	その他(千円)	7,900	172,700						136,400
	一般則	才源(千円)	2,213	25,239						2,646

Ⅳ 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市庁舎の通常 る。	業務を行いなが	ら、業務に支障領	無いように工事	事を進める	必要があ
②評価	i 市関与の妥当性 ii 右効性	3高い 3高い		3高い 2普通	v 総合評価	6精査・検証
			<u>・・ッ・</u> 、工事が適正に着		<u></u> 在認するた。	

Ⅴ 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

	空調設備及び非常用発電設	令	和2年	度事業	費の状	況(単	位;千円)	
① 7 和 2 千 及 の 計 画	備の改修工事を実施する。	計画事業費		予算額	Į		決算額	Į	
②計画に対する事業実績	空調設備改修工事を実施し			当初	287,784		R1から	3,725	
	た。	405.224	408.949	R1⇒R2繰越	3,725	224.162	の繰越	3,725	
③達成状況	未完了	403,224	400,949	補正	117,440	224,102	現年分	220.437	
④未完了·非着手の理由	非常用発電設備改修工事が			流用·充当	0		5年7	220,437	
4 木元」・非相子の珪田	HI	令和3年度への繰越額(単位;千						163,501	

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業評価表 (事後)	(標準記	平価表)						
事務	§事業名		庁用車頭	更新事業				会計	款 2		3 経費 7 ○			
	 政策		 計画の実理	見のために	-			担当課室		<u>'_</u> 5管財				
	<u></u>		率的で健全な行			 ≝		担当課室長	-	香秀				
		=事務事業をよ				=		2-11-22	11-311	PJ 25				
①のでたた②基取組制を でくみ おおり かいまた の は は と は れい かい	使用年数や対 状況等も勘 いく必要があ 使用年数や対 状況等も勘 な 4台の更新を	ま行距離だけで そしながら更新 る。 ま行距離だけで そしながら更新 行った。	はなく、修理 車両を決定して	③令和 度に革 改内容	D3年 双組む	修理》	F数やす 犬況等; t定して	し勘案し	なな	がら更	新車			
Ⅱ事務	事業の目的・	概要				1								
①目的	対象	庁用車		意図(対象するのか)			した車を全な							
②事務事	事業の概要	庁用車の老朽 もの。	化に伴い、使用	年数の長	いもの	や修理	!の多し	15台に	つし	て更	新する			
からの状況 見込み・市	氏息門は乙)	行い、安全に利	の業務において 川用できる必要が		動手段	ととなっ	ている	ことかり	ò、道	直正な	管理を			
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況												
①令和2 の成果	生度の事業		だ車両について ナウイルス感染 。				時に分	乗する	ため	の庁	用バス			
②成果		指标	票名称	平成30 年度	花30 令和元 令和2 単位 年度 年度 年度					算定根拠				
を表す指標	i	更新	新台数		5	4	台	業務国	仅得					
	iii													
		令和元年度決算		令和2年月	<u> </u>	事業費	<u>()の主</u>	な内訳	令₹	03年/				
事業費(三	F円) 出金(千円)	5,384	20,385	金額(千		庁用車	内容				0			
	出金(千円)					<u></u>								
市債ぞ	その他(千円)													
	<u> </u>	5,384	20,385											
Ⅳ 評価														
①課題(る現状な	目的に対す :ど)		行距離等を勘案					て行く	必要:	がある	5.			
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 2普通		v 総合	評価	6精望	҈∳証			
	呼価の理由		基準に照らし合			所車両7	が適正	か確認	する	ため	o			
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	[施計画]におけ			ᇤᆂᄴ	進る。山	220 / 224	1上 -	7 m \				
①令和2	2年度の計画	庁用車を5台更	新する。	計画事業費		度事業 予算額		、沈(里 		<u>+円)</u> 算額				
②計画に対	対する事業実績	予算の範囲内 台更新できた <u>。</u>		22,938		当初 6,339,000 R1から の繰越 0 20 385				0				
@\+ B					22,938,000 補正 16,599,000 担任分									
③達成物	犬 <u>況</u> ・非着手の理由	<u></u>	了	22,000		補正 ^{流用·充当}	16,599,000		現年	∓分	20,385			

	•	令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準評	平価表))			
事務	務事業名		旅券事務に	要する経	費			会計	款 2	項 3	1 多額 経費
	 政策		計画の実現	見のため	Ξ			担当課室	市民	 ¦課	<u> </u>
	 施策	効	 率的で健全な行	, 財政運	 営の推済	<u> </u>		担当課室長	鈴木	由	 美
I 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方	策)						
①前評掲内でた2基取組制を表す。	旅券の申請、修を積極的に迅速性を向」旅券の申請で 国や県からのとめた通知を	交付業務についていて、事務処理とさせ、市民がよき行えるようにするとうにする。	いて、職員研理の正確性、よりスムーズにる。 注意事項をまかの専門的な	③令 度に	和3年 取組む ・改善	を申請 もに、 理のII ないよ	しやす 多くの E 確性を	い環境 申請が を保ち、 例研究	きを検 あって 不正 を行	証す ても 取	
<u>н</u>	<u> </u>		+ -1	ᆂᅋᄼᆚᄺ	カナ じこ	士尔司	- TO TO TO	5+b *	ω ф:	± 3	立山
①目的	対象	市民、市内居住県内住民登録		意図(対象をどう 市役所窓口で旅券の申請、受けするのか) 取りを行う							
②事務事	事業の概要	鎌ケ谷市民だり	ナでなく、県内在	E住者もお	含め、旅	券の申	請受理	型、交付	を行	う。	
からの状況 見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	以前は千葉県の ているので、コ							うえる	らよう	になっ
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況									
①令和2 の成果	年度の事業	コロナによる渡 やすい環境をf		旅費申請				ことって	に旅券	きを日	申請し
②成果		11-11									
			票名称	年度	令和元 年度	年度	単位		算定		T
を表す	i	旅券甲	申請件数	年度 2,424	年度 5,046	年度 688	件	申請数		+	u.
	i ii	旅券甲		年度 2,424	年度	年度 688	件	申請数交付数		+	<u>r</u>
を表す指標	iii	旅券5	申請件数 交付件数	年度 2,424 2,08	年度 5,046 5,087	年度 688 850	件 件	交付数	效累言 效累言	+	
を表す 指標 <u>③事務</u> 事	iii 業業のコスト	旅券5 旅券3 令和元年度決算	申請件数交付件数	年度 2,424 2,08 令和2年	年度 5,046 5,087 度決算(年度 688 850	件 件)の主	交付数	效累言 效累言	+	度予算
を表す 指標 ③事務事 事業費(=	iii 業業のコスト	旅券5	申請件数 交付件数	年度 2,424 2,08 令和2年	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円)	年度 688 850	件 件)の主 内容	交付数 な内訳	效累言 效累言	+	
を表す 指標 ③事務事 事業費(= 国支出 県支出	iii 事業のコスト F円) 出金(千円) 出金(千円)	旅券 旅券3 <mark>令和元年度決算</mark> 79,952	申請件数交付件数	年度 2,424 2,08 令和2年	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円)	年度 688 850 事業費	件 件)の主 内容	交付数 な内訳	效累言 效累言	+	<mark>度予算</mark> 54,373 0 4,823
を表す 事務事 事業費(= 県支出 市債で	iii 事業のコスト F円) 出金(千円) 出金(千円) たの他(千円)	旅券 旅券3 <mark>令和元年度決算</mark> 79,952 0 5,997 57,593	申請件数 交付件数 <mark>令和2年度決算</mark> 6,105 0 6,105	年度 2,424 2,08 令和2年	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円)	年度 688 850 事業費	件 件)の主 内容	交付数 な内訳	效累言 效累言	+	度予算 54,373 0 4,823 47,910
を表標 ③事業 国東 支出 市般 即	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) たの他(千円) 材源(千円)	旅券 旅券3 <mark>令和元年度決算</mark> 79,952 0 5,997	申請件数 交付件数 <mark>令和2年度決算</mark> 6,105 0 6,105	年度 2,424 2,08 令和2年	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円)	年度 688 850 事業費	件 件)の主 内容	交付数 な内訳	效累言 效累言	+	<mark>度予算</mark> 54,373 0 4,823
を表標 ③事業員支出 「一般」 「N」 「下価」	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) たの他(千円) 才源(千円)	旅券 旅券3 <mark>令和元年度決算</mark> 79,952 0 5,997 57,593 16,362	申請件数 交付件数 <mark>令和2年度決算</mark> 6,105 0 6,105 0	年度 2,42 2,08 令和2年 金額(年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円) 6,105	年度 688 850 事業費 会計年原	件 件)の主 内容 度任用職	交付数な内訳は負報酬	牧累言 牧累言	† † 13年	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373
を表標 ③事業費(三 県市一般 IV 評価	iii 事業のコスト F円) は金(千円) は金(千円) での他(千円) 才源(千円) ・検討 目的に対す	旅券車 旅券3	申請件数 交付件数	年度 2,42 ⁶ 2,08 令和2年 金額(「えるよう	年度 1 5,046 7 5,087 度決算 千円) 6,105	年度 688 850 事業費 会計年原	件 件)の主 内容 度任用職	交付数な内訳は負報酬	牧累言 牧累言	† † 13年	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373
を表標 事費(三 事業国支 中 一 で 一 で で で で は で で で で に で で に で の に の に の に の に の に の	iii 事業のコスト F円) は金(千円) は金(千円) での他(千円) 才源(千円) ・検討 目的に対す	旅券車 旅券の 令和元年度決算 79,952 0 5,997 57,593 16,362 旅券申請が身 より、さらに市長 i 市関与の妥当性 ii 有効性	申請件数 交付件数	年度 2,424 2,08 令和2年 金額(ごころよう こを図る。 iii 公平性iv 効率性	年度 5,046 5,087 度決算(干円) 6,105	年度 688 850 事業費 会計年原 3高い 3高い	件件の主流をは、内容を受ける。	交付数 な内訳 員報酬 ライン	牧果言 令和 申請 評価	13年の導	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373 (入等に
を指 事費 事費 国県市一評題状 の で 記 で で で で の で の の の の の の の の の の の	iii 事業のコスト 手円) は金(千円) は金(千円) はの他(千円) が源(千円) ・検討 目的に対す こど)	旅券車 旅券 3	申請件数 交付件数	年度 2,424 2,08 令和2年 金額(ごえるる。 iii 公平性 iv 効率性 ンシに市民	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円) 6,105 になった 上 上 り導入作	年度 688 850 事業費 会計年原 が、今 3高い 、申請	件件件の方容度任用職後オン	交付数 な内訳 は具報酬 マライン の時に	対果言 対果言 中請 評価 可数の	13年の導	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373 (入等に
を指 事費 事費 国県市一評題状 の で 記 で で で で の で の の の の の の の の の の の	iii 事業のコスト 手円) は金(千円) は金(千円) はの他(千円) が源(千円) ・検討 目的に対す こど)	旅券車 旅券車 79,952 0 5,997 57,593 16,362 旅券申請が身 より、さらに市長 i 市関与の妥当性 ii 有効性 国のデジタル化	申請件数 交付件数	年度 2,429 2,08 令和2年 金額(示える。 ぶるよう。 で、効率性で、対策を が、対策を で、対策を が、対策を で、対策を が、対策 が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円) 6,105 になった り導入でし 大況	年度 688 850 事業費 会計年原 か、今 3高い 集中上海	件件件の主流をはいる。	交付数 な内訳 資報酬 マライン の頭はなる	中請	† † 13年 の導 6精:	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373 上入等に 献など
を指 事費 事費 国県市一部 部 で で で で で で で の で の で の の の の の の の	iii 事業のコスト 手円) は金(千円) は金(千円) はの他(千円) が源(千円) ・検討 目的に対す こど)	旅券車 旅券 3	申請件数 交付件数	年度 2,429 2,08 令和2年 金額(示える。 ぶるよう。 で、効率性で、対策を が、対策を で、対策を が、対策を で、対策を が、対策 が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が、対策を が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円) 6,105 になった は 説 説 が が が が の が の の の の の の の の の の の の の	年度 688 850 事業費 会計年度 が、高高い ま算 事業額	件件件の主流をはある。	交付数 な内訳 資報酬 マライン の頭はなる	文文 令 和 申請	† † 13年 の導 6精:	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373 込等に 査・検証 咸など
を指 事費 事費 国県市一評題状 (3) ア (3) ア (3) ア (4) マ (4) マ (4) マ (5) マ (6) マ (7) で (7) マ (7) で (7) マ (7) マ (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)	iii 事業のコスト 千円) は金(千円) は金(千円) はの他(千円) ・検討 目的に対す こど)	旅券車 旅券 3	申請件数 交付件数	年度 2,426 2,08 令和2年 金額(ごとのでは、 では、対象を では、対象を では、対象を では、対象を では、対象を できる。。	年度 5,046 7 5,087 度決算(千円) 6,105 になった は ジラ利便(大況) 今和2年	年度 688 850 事業費 会計年原 会計年原 は う う う う も り り り り り り り り り り り り り り り	件件件の主流をはある。	交付 な内訳 資報酬 マライン の の は の は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	文文 令 和 申請	† † † 13年 の 6精 う削 が 5 下 算額 い 6 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373 込等に 査・検証 咸など
を指 事費 事費 国 県 市 一 評 題 状 で る 2 部 の る 2 部 の の る の る の る の る の る の る の る の る の る	iii 事業のコスト F円) は金(千円) は金(千円) はの他(千円) が源(千円) ・検討 目的に対す など) 平価の理由 の経費を要す の年度の計画 対する事業実績	旅券車 旅券 3	申請件数 交付件数	年度 2,426 2,08 令和2年 金額(ごとのでは、 では、対象を では、対象を では、対象を では、対象を では、対象を できる。。	年度 1 5,046 7 5,087 度決算(千円) 6,105 になった は 説 説 が が が が の が の の の の の の の の の の の の の	年度688850事業費会計が、高高事中事業額	件件件の主流をはある。	交付数 な内訳 資報酬 マライン の頭はなる	数累言 中請 回数 位; R1か	+ 13年 の 6 精 1 削 ア 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	度予算 54,373 0 4,823 47,910 54,373 込等に 査・検証 咸など

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業評	平価表(事後)	(標準記	平価表)							
重系	务事業名	4	主民票等コンビ	_ <u>z</u>	た付道	3 車業			会計	款	項	目	多額 経費			
7 1.	力争未石	l I	エ氏宗寺コンに	ر <u> </u>	文 円 等力	八甲木			一般	2	3	1	0			
	政策		計画の実現	現₫	つために	-			担当課室	市	 民課					
	施策	効	率的で健全な行	亍 財	政運営	の推進	進		担当課室長	鈴	木 自	美				
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	たと	りの方気	(毛)										
①前評掲内で た内でで ② で で で で で で で で で で で で で で で で り で り	ける交付を安 の向上を図る システムを正 ける交付を安 の向上が達り	ではない。 ではない。 できた。	†民の利便性 コンビニにお		③令和 度に取 改革・i 内容	組む	せ、コ	ンビニ	、テムを におけ この利値	る交	付を	安定	官的			
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要														
①目的	対象	各種証明書			図(対象 るのか)	をどう	取得場	取得場所及び取得時間の拡充								
②事務事	事業の概要	マイナンバーカ	ード所有者に対	対し	て、各種	重証明	書のコ	ンビニ	交付を	実施	する) o				
からの状況 見込み・市	予析(事業開始 記変化や今後の i民意向など)	安定的な運営														
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況														
①令和2 の成果	2年度の事業	 交付場所、交付 	付時間の拡充に	より	り、市民	ゖ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	ごスの向	可上が	実現で	きた	0					
②成果		指标	票名称	平成30 令和元 令和2 単			単位		算定根拠							
を表す	İ		寸場所	19 約54,000 約54,000 力月			力所	コンビ								
指標	ii	交行	付時間		11, 5	16, 5	16, 5	時間	コンビ	二交	<u> そ付す</u>	寸応[時間			
②重級重	Ⅲ 業のコスト	令和元年度決算	会和2年度选管		知り任用	F	 '主 学	! !)	た広記	今 1	⊞3年	一亩 3	3.笛			
事業費(-		17,379			<u>102年13</u> 金額(千		· 尹 木 貝 	内容	<u>'& ' 1 (</u>	11 4	по-	-汉	0			
	出金(千円)	.,,,,,,	3,000				交付シ		۸.							
	出金(千円)						システ		負担金							
	その他(千円)					381	手数米	<u></u>								
	<u>才源(千円)</u>	17,379	9,508	L						_						
IV 評価		<u> </u>														
①課題(目的に対す			、が必要であり、普及率の向					·促進す	⁻ る。	_					
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い	iv	公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合			1終				
	平価の理由	導入事業が完するため。					したが、	、引き組	元さ女)	正的	ば連	用を				
Ⅴ 多額	の経費を要す	「る事業等の「写	ミ施計画」におり	ける			ᇠᆂᄴ	進る出								
①令和2	2年度の計画	コンビニ交付導	入	計	令 画事業費	和2年	予算額	Į	状況(単位;千円) 上、決算額							
		コンビニ交付導			9 733	9,733	<u>当初</u> R1⇒R2繰越	9,733 0	9,508		から 繰越		0			
②洋は	# 2 🗆		マ	1	5,750	0,700	+		0,000			ı				

0

9,508

0 0 9,508

0

現年分

R1⇒R2繰越 補正

流用·充当

令和3年度への繰越額(単位;千円)

完了

③達成状況

④未完了・非着手の理由

	,	令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業割	「価表(事後)	(標準部	平価表)				
					1241 - T. 7 / 12 # 1					款	項	目	多額 経費
事務事業名		議会事務局の運営に要する経費						一般	1	1	1	<u>#1 52</u>	
	政策	計画の実現のために						担当課室	議会	議会事務局			
	施策	効率的で健全な行財政運営の推進						担当課室長	後前	後藤 由美			
I 改革	·改善内容(=	=事務事業をより良く実施するための方策)											
①前回ので掲げ容と ②①では 本組 表記 を は ままま を ままま ままま ままま ままま ままま まままま ままま	動等の透明付事業の展開を 議会運営をP取り扱いに係た、政務活動を実施した。				度に取組むに実施する。また、議会活			伴う一連の事務を円滑 。 舌動等の透明性を確保 効果的な事業の展開を					
Ⅱ事務	務事業の目的・概要												
①目的	対象	市民、市議会調					された議決機関である な運営を行う。						
②事務事	務事業の概要 憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行うため、その事務を適正 に行う。										匪		
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 地方分権の進捗に伴い、議会活動の透明性の確保と内容を広く周知するととも 新たな政策提案が求められている。							に、						
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①令和2年度の事業 の成果 適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮したうえで、遅延することなく事業 を実施することができた。										業			
②成果		指標名称			平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位	算定根拠				
を表す	i	傍聴者数			337	556	344	人	業務取得				
指標	ii												
③事務事	業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令	和2年度	表)算(事業費	·)の主	な内訳	令和	13年	度-	予算
事業費(千円)		22,490			金額(千	円)		内容					,109
	出金(千円)		14				会議錄						
県支出金(千円)						·			中継システム委託				
市債その他(千円)							だより						
一般財源(千円)		22,490 19,253			2,837 本会議場等設			易等設備	請賃貸借			33	,109
Ⅳ 評価 ①課題(る現状な	目的に対す		リー層進む状況 こと及び新たな						の透明	性の	D確f	'呆、「	内容
②評価		i 市関与の妥当性 3高い ii 有効性 3高い				3高い 3高い v総合		v 総合	評価 6精査・		検証		
③上記評価の理由 より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うめ。								うた					
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画』におい	ける									
①令和2年度の計画				計画	令 画事業費		度事業 予算額		況(単		千円		
 ②計画に対する事業実績				нтш	コア不見		当初			R1:	子の から 繰越		
3.辛叶+	받다					0	R1⇒R2繰越 之市「下		0				
③達成状況 ④未完了・非着手の理由							補正 ^{流用·充当}			現年	年分		
	717日 7 477王山			令和	3年度への	繰越額(単	位;千円)						

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業評価表(事後)	(標準i	平価表)					
事系	务事業名		境整備事	会計	款	項	目	多額 経費					
3 - 3.	20 1. NK E	HANDS ON THE PINT TO A						一般	1	1	1	0	
	政策		計画の実現のために					担当課室	議会事務局				
	施策	効	効率的で健全な行財政運営の推進						後前	後藤 由美			
	・改善内容(=	=事務事業をより良く実施するための方策)											
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に 基づく 取組み 結果 II 事務事業の目的・概要			③令和 度に取 改革・ 内容		化やオンライン会議など けて検討する。								
□ 事份	 	<u> </u>		辛丽 /七/	I \ _							_	
①目的	D目的 対象 市議会			意図(対象をどう するのか) オンライン会議の実施									
②事務事業の概要 議会運営に係るオンライン会議を実現するため、端末の購入等、必要な整備を行う。										行			
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 災害時や緊急時における議会活動の継続性を確保することが求められて						てし	いる。)					
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①令和2年度の事業 の成果 タブレット端末等を27台購入し、議会報告を紙媒体からメール送信に切り替える とで、情報共有の迅速化及びペーパレス化に繋げた。							すえる	るこ					
②成果		指相				単位	算定根拠						
を表す	i	タブレッ	27			台							
指標	ii											-	
③事務事	<u> '''</u> 業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年月	を決算(」 (事業費	」 (アンション) (アンション)	な内訳	令和	13年	度-	予算	
事業費(-		0					内容	21 Jan 11 11 11 1 1 2 1			0		
	出金(千円)		6,849 公用タブレット立			ブレット端	末購入						
	出金(千円)												
市債その他(千円)			000										
<u> </u>	<mark>才源(千円)</mark>		362			l			_				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	目的に対す	現段階では主にタ オンライン会議の「	ブレット端末を議会 開催などさらなる活	報告等の連 用を推進して	絡手段の	として使月 :が求めら	用してい。 られてい	るが、今 る。	後は	ペーノ	パレス	ベ化や	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	iii 公平性 iv 効率性	iii 公平性 3高い iv 効率性 3高い			v総合評価 1終了						
3上記記	平価の理由	ii 有効性 3高い iv 効率性 3高い ************************************											
V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況													
①令和2年度の計画		議会運営に係るオンラーめ、端末の購入等、必要	令和2年度事業費の物 計画事業費 予算額				犬況(単位;千円) ┃ 決算額						
②計画に対する事業実績		令和3年3月にク 7台を購入し、利			当初 R1⇒R2繰越			R1:	・手巾 から 繰越		0		
③達成状況		完	8,774	8,774	補正	8,774	6,849		年分	,	6,849		
④未完了	・非着手の理由			令和3年度への	繰越額(単	流用·充当 位;千円)			-70	1 /3	<u> </u>	0	
												_	